



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月5日

上場会社名 株式会社 日本製鋼所
 コード番号 5631 URL <https://www.jsw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 総務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年8月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

(氏名) 宮内 直孝
 (氏名) 程田 厚哉

TEL 03-5745-2001

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	53,938	△1.4	6,992	0.1	7,702	△4.1	6,284	△8.6
2019年3月期第1四半期	54,704	22.9	6,987	53.8	8,031	77.7	6,873	113.7

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 6,688百万円 (23.7%) 2019年3月期第1四半期 5,405百万円 (31.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	85.49	—
2019年3月期第1四半期	93.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	315,495	134,864	42.2
2019年3月期	305,471	129,827	42.0

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 133,276百万円 2019年3月期 128,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	25.00	—	30.00	55.00
2020年3月期	—				
2020年3月期(予想)		27.50	—	27.50	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年 3月期の連結業績予想(2019年 4月 1日～2020年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	112,500	2.6	9,500	△23.2	10,500	△23.3	7,500	△37.2	102.05
通期	225,000	2.2	19,000	△21.8	20,000	△28.4	14,000	△29.9	190.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年3月期1Q	74,309,108 株	2019年3月期	74,309,108 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2020年3月期1Q	803,101 株	2019年3月期	803,082 株
------------	-----------	----------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	73,506,010 株	2019年3月期1Q	73,490,081 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、現時点で入手している情報に基づき当社が判断した予想であり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記.....	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(セグメント情報等)	7
(企業結合等関係)	8
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報.....	11
受注高、売上高及び受注残高の状況	
(1) 受注高.....	11
(2) 売上高.....	11
(3) 受注残高.....	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、海外市場においては、米国では設備投資の抑制の動きが見られ、中国では経済減速による需要低迷が継続するなど厳しい状況が続きました。国内市場においても、中国経済の減速による輸出低迷、設備投資の鈍化など需要は低調に推移しました。先行きについては、米中貿易摩擦の長期化など不透明な状況が続いております。

このような状況のもとではありますが、引き続き当社グループでは「産業機械で『成長』、素形材・エネルギーは『新生』」をコンセプトとして掲げ、2018年5月に策定した2021年3月期までの3ヵ年の中期経営計画(JGP2020)に沿って、①経営資源の最適化とアライアンスの強化、②アフターサービス(ストック型ビジネス)の強化、③新事業探索、育成の活性化の3つを基本方針とした事業活動を推進しております。

当社グループにおける当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は、産業機械事業、素形材・エネルギー事業が共に減少し、469億44百万円(前年同期比28.8%減)となりました。売上高は、素形材・エネルギー事業が減少したものの、産業機械事業は前年同期並みの実績を確保し、539億38百万円(前年同期比1.4%減)となりました。損益面では、営業利益は69億92百万円(前年同期比0.1%増)、経常利益は77億2百万円(前年同期比4.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は62億84百万円(前年同期比8.6%減)となりました。

主要なセグメント別の業績は次のとおりであります。

(産業機械事業)

受注高は、樹脂製造・加工機械及び成形機が減少したことから、362億14百万円(前年同期比31.7%減)となりました。

売上高は、樹脂製造・加工機械及びFPD装置が減少したものの、前年同期並みの440億43百万円(前年同期比1.4%減)となりました。

営業利益は、売上製品構成の変化があったものの、前年同期並みの64億21百万円(前年同期は営業利益64億23百万円)となりました。

(素形材・エネルギー事業)

受注高は、クラッド鋼板・鋼管が減少したことから、98億73百万円(前年同期比10.8%減)となりました。

売上高は、鋳鍛鋼製品が増加したものの、前年同期に大型案件の売上があったクラッド鋼板・鋼管が反動減となったことから、84億75百万円(前年同期比3.4%減)となりました。

営業利益は、売上高の減少や売上製品構成の変化などにより、11億29百万円(前年同期比2.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比100億24百万円増加し、3,154億95百万円となりました。これは主に、現金及び預金や仕掛品などの流動資産が増加したためであります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末比49億86百万円増加し、1,806億30百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金や前受金などの流動負債が増加したためであります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末比50億37百万円増加し、1,348億64百万円となりました。これは主に、利益剰余金が増加したためであります。自己資本比率は42.2%(前連結会計年度末は42.0%)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、2019年5月13日に公表の予想値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	74,304	77,555
受取手形及び売掛金	64,921	62,805
商品及び製品	2,767	3,274
仕掛品	61,004	67,868
原材料及び貯蔵品	5,675	5,952
その他	6,544	7,200
貸倒引当金	△137	△130
流動資産合計	215,080	224,525
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,212	16,749
機械装置及び運搬具（純額）	7,273	7,096
その他（純額）	12,027	12,481
有形固定資産合計	34,514	36,327
無形固定資産		
のれん	268	212
その他	1,957	1,961
無形固定資産合計	2,226	2,174
投資その他の資産		
投資有価証券	29,078	28,927
その他	24,969	23,936
貸倒引当金	△397	△395
投資その他の資産合計	53,650	52,468
固定資産合計	90,391	90,970
資産合計	305,471	315,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,579	58,841
短期借入金	12,088	12,558
1年内返済予定の長期借入金	199	5,177
未払法人税等	3,326	1,974
前受金	16,619	17,547
風力事業損失引当金	1,887	1,721
事業再構築引当金	5,295	5,266
その他の引当金	836	476
その他	16,637	17,892
流動負債合計	112,469	121,455
固定負債		
長期借入金	39,208	34,705
引当金	73	73
退職給付に係る負債	10,494	10,580
資産除去債務	1,308	1,311
その他	12,089	12,503
固定負債合計	63,174	59,175
負債合計	175,643	180,630

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,716	19,716
資本剰余金	5,362	5,362
利益剰余金	102,915	107,449
自己株式	△2,312	△2,312
株主資本合計	125,682	130,216
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,290	3,310
繰延ヘッジ損益	△226	65
為替換算調整勘定	△222	△171
退職給付に係る調整累計額	△115	△144
その他の包括利益累計額合計	2,725	3,060
非支配株主持分	1,419	1,588
純資産合計	129,827	134,864
負債純資産合計	305,471	315,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	54,704	53,938
売上原価	40,509	39,075
売上総利益	14,194	14,863
販売費及び一般管理費	7,207	7,870
営業利益	6,987	6,992
営業外収益		
受取利息	11	18
受取配当金	427	443
持分法による投資利益	88	—
固定資産賃貸益	208	208
雑収入	387	268
営業外収益合計	1,123	938
営業外費用		
支払利息	60	60
持分法による投資損失	—	1
雑損失	18	167
営業外費用合計	79	228
経常利益	8,031	7,702
特別利益		
固定資産売却益	1,747	1,230
その他	235	361
特別利益合計	1,982	1,591
特別損失		
固定資産売却損	—	5
固定資産除却損	26	51
その他	—	95
特別損失合計	26	152
税金等調整前四半期純利益	9,987	9,141
法人税、住民税及び事業税	2,915	2,235
法人税等調整額	130	557
法人税等合計	3,046	2,793
四半期純利益	6,941	6,348
非支配株主に帰属する四半期純利益	68	64
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,873	6,284

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	6,941	6,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△851	19
繰延ヘッジ損益	△394	292
為替換算調整勘定	△338	55
退職給付に係る調整額	47	△27
その他の包括利益合計	△1,536	340
四半期包括利益	5,405	6,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,366	6,618
非支配株主に係る四半期包括利益	38	70

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(第1四半期連結会計期間)

日鋼情報システム株式会社は当社と合併したことにより、同社を連結範囲から除外しております。

持分法適用関連会社であった株式会社ジーエムエンジニアリングの株式を当社が追加取得したことにより、同社を連結の範囲に含めております。

JSW Plastics Machinery (Shenzhen) Co., Ltd.、JSW Machinery Trading (Shanghai) Co., Ltd.、JSW Machinery (Ningbo) Co., Ltd. は重要性が増したことから、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業機械事業	素形材・ エネルギー事業	その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	44,648	8,770	1,285	54,704	—	54,704
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	207	810	834	1,852	(1,852)	—
計	44,856	9,580	2,120	56,557	(1,852)	54,704
セグメント利益 (営業利益)	6,423	1,160	70	7,654	(666)	6,987

(注) セグメント利益の調整額△666百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)	四半期連結 損益計算書 計上額
	産業機械事業	素形材・ エネルギー事業	その他事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	44,043	8,475	1,419	53,938	—	53,938
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	225	1,248	578	2,051	(2,051)	—
計	44,269	9,723	1,997	55,989	(2,051)	53,938
セグメント利益 (営業利益)	6,421	1,129	251	7,803	(810)	6,992

(注) セグメント利益の調整額△810百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間取引にかかる棚卸資産の調整額等が含まれております。

(企業結合等関係)

1. 共通支配下の取引等

当社は、2019年1月29日開催の取締役会決議に伴い、2019年4月1日に日鋼情報システム株式会社を吸収合併しております。

(1) 取引の概要

①結合当事企業の名称及び事業の内容

結合当事企業の名称 日鋼情報システム株式会社

事業の内容 コンピュータシステムのコンサルティング、受託開発、技術指導に関する事業ほか

②企業結合日

2019年4月1日

③企業結合の法的形式

当社を存続会社とし、日鋼情報システム株式会社を消滅会社とする吸収合併

④結合後企業の名称

株式会社日本製鋼所

⑤その他取引の概要に関する事項

日鋼情報システム株式会社は、当社の完全子会社として1990年4月に設立後、当社の情報システム運営管理及び受託開発事業を主に担って参りましたが、先端的な情報技術（機械学習等）が当社の製品価値・サービス価値向上に重要な要素であることに鑑み、機能強化を図る目的で本合併を行うものであります。

(2) 会計処理の概要

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 2019年1月16日）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 2019年1月16日）に基づき、共通支配下の取引として会計処理を実施しております。

2. 取得による企業結合

当社は、2019年3月19日開催の取締役会決議に伴い、2019年4月1日に持分法適用関連会社でありました株式会社ジーエムエンジニアリングの株式を追加取得し、連結子会社化しております。

(1) 企業結合の概要

①被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称	株式会社ジーエムエンジニアリング
事業の内容	プラスチック用シート装置・押出成形機等の設計・製造及び販売、ダイ及び付属装置の設計・製造及び販売

②企業結合を行った主な理由

シート装置事業の強化・拡大

③企業結合日

2019年4月1日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤結合後企業の名称

結合後企業の名称に変更はありません。

⑥取得した議決権比率

企業結合直前に所有していた議決権比率	21.75%
<u>企業結合日に追加取得した議決権比率</u>	<u>60.50%</u>
取得後の議決権比率	82.25%

⑦取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したことによるものであります。

(2) 四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に含まれる被取得企業の業績の期間

2019年4月1日から2019年6月30日まで

(3) 被取得企業の取得原価及びその内訳

企業結合直前に保有していた持分の企業結合日における時価	34百万円
<u>追加取得に伴い支出した現金</u>	<u>96百万円</u>
取得原価	131百万円

(4) 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 5百万円

(5) 被取得企業の取得原価と取得するに至った取引ごとの取得原価の合計額との差額

段階取得に係る差損 95百万円

(6) 発生した負ののれんの金額、発生原因

①発生した負ののれんの金額

361百万円

②発生原因

株式会社ジーエムエンジニアリングの時価純資産が取得原価を上回ったためであります。

(7) 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

流動資産	1,722百万円
<u>固定資産</u>	<u>654百万円</u>
資産合計	2,377百万円

流動負債	1,275百万円
<u>固定負債</u>	<u>503百万円</u>
負債合計	1,778百万円

(重要な後発事象)

重要な子会社の設立

当社は、2019年7月23日開催の取締役会決議に伴い、2019年8月1日にJX金属株式会社と合弁会社を設立しております。

(1) 設立の目的

従来の鉄鋼製品に加えて、高機能金属素材分野における事業拡大を推し進め、素形材・エネルギー事業の再構築を目的としております。

(2) 設立する子会社の概要

- | | |
|--------|---------------|
| ①名称 | : 室蘭銅合金株式会社 |
| ②本社所在地 | : 北海道室蘭市 |
| ③事業内容 | : 銅合金の溶解・鋳造加工 |
| ④資本金 | : 1億円 |
| ⑤設立の時期 | : 2019年8月1日 |
| ⑥発行株式数 | : 2,000株 |
| 取得価額 | : 51百万円 |
| 取得株数 | : 1,020株 |
| 持分比率 | : 51% |

3. 補足情報

受注高、売上高及び受注残高の状況

(1) 受注高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第1四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年6月30日)
産業機械事業	52,984	36,214
素形材・エネルギー事業	11,072	9,873
その他の事業	1,850	855
合 計	65,908	46,944

(2) 売上高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第1四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年6月30日)
産業機械事業	44,648	44,043
素形材・エネルギー事業	8,770	8,475
その他の事業	1,285	1,419
合 計	54,704	53,938

(3) 受注残高

(単位：百万円)

セグメント区分	前第1四半期連結累計期間 (2018年4月1日～2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (2019年4月1日～2019年6月30日)
産業機械事業	150,735	137,344
素形材・エネルギー事業	46,018	37,986
その他の事業	1,537	1,429
合 計	198,291	176,760